

河川基金助成事業

「河川流域交流・世代間交流による、公助に頼らない自助・共助で「生きる力」を身に付ける体験型活動」

助成番号：2019-6111-004

次世代のためにがんばろ会
代表 松浦 ゆかり

2019 年度

河川基金助成事業

「河川流域交流・世代間交流による、公助に
頼らない自助・共助で「生きる力」を身に付
ける体験型活動」

2019 年度

助成番号 2019-6111-004
河川協力団体
次世代のためにがんばろ会
代表 松浦ゆかり

《 目 次 》

1. 最終報告 [概要] [内容]	2
2. 河川防災教育モデル校発足と防災教材提供・授業の開催 (国土交通省八代事務所と協同)	4
2.1 活動の目的	
2.1.1 当日記録内容	
3. 水質検査と水生生物調査 (2 回)	5
3.1 活動の目的	
3.1.1 当日記録内容	
4. 「くま川水浴場」 その1・その2	5
4.1 活動の目的	
4.1.1 当日記録内容	
5. 川の安全教室球磨川上下流川の交流学习	6
5.1 活動の目的	
5.1.1 当日記録内容	
6. 「水辺で乾杯」を盛り上げる企画 球磨川の歴史を遥拝堰から学ぶ . . .	7
6.1 活動の目的	
6.1.1 当日記録内容	
7. 防災体験キャンプ	7
8.1 活動の目的	
8.1.1 当日記録内容	
8. 河川教育・防災教育のための会員の学習会・研修会受講 その1・その2	8
10.1 活動の目的	
10.1.1 当日記録内容	
9. 球磨川こどもごみパトロール隊	9
7.1 活動の目的	
7.1.1 当日記録内容	
10. 活動発表会・講演会の開催	9

助成事業名 魅力的な水辺活用・地域活性化プログラム報告書

【概 要】

人々が川と安全に触れ合う環境を作るためには、川に関連した正しく広範な知識・情報が不可欠であり、更に、子ども達が川に親しみを持つためには教育関係者の理解が必要である。そこで、官・民・学の共同体制で地域の小学校に、河川の情報提供、必要な備品の整備・貸出、子どもの水辺への安全・防災・水生生物水質調査等の出前講座を行い、この実施体制について教育委員会の理解を求める。この活動を重ねることで、小学校河川教育モデル校を目指しつつ、将来に渡る河川の賑わいを地域に広げていく。

【目標・達成度】

年間を通じ、「河川防災モデル校」として宮地小学校で様々な体験プログラムを実施することを目的に親子・地域を巻き込んでできたことは、幼少期から防災教育を進める、自然災害に関する「心構え」と「知識」を備えた個人を育成することに効果的であり、これにより、子供から家庭さらには地域へと防災知識等が浸透していくことが期待できる。球磨川流域における防災・河川教育を推進する際に、自然災害から命を守るためには、一人一人は災害時において適切な避難行動をとる能力を養われた。

授業をした児童たちは、昨年度「子どもごみパトロール隊」に参加した児童たちであり、流水模型の実験を見て、大雨の場合に決壊する対応策に堤防や排水機場の存在を知り、昨年度見学した排水機場の理解につながったことは、防災教育モデル校としての意義があると感じた。

【事業・活動計画の妥当性】

宮地小学校の校長・全先生方に了承を得て、「河川防災教育モデル校」として、年間を通じ各学年で取り組んだ。球磨川流域の情報を盛り込み教科書に沿った防災ソフト教材・模型を作成。実際にその教材を利用して頂くことへの説名会を数か所で開始し、教育委員会や学校校長会のご理解を得て、初授業もできるようになった。また各学年、河川教育体験型を通年で実施したことで、身近な川に親しむことができる人材の育成に寄与したものとする。今後のさらなる川辺の賑わいに繋げることができるものと捉えており、今後は全地域の小学校での、防災・河川教育の教材、学習プログラムの取り組み土台となったことから、本年度の活動は妥当であるとする。

【事業・活動の効果】

当会活動の地域河川で、人と自然との共生のための行動意欲、公助に頼らない自らの命を守るための「生きる力」を学ぶために、年間を通じた企画運営と防災教育を官民学の行動体制で地域と学校教育現場において防災教材を持ち揃えた授業を行えるようになり、子どもとその保護者を啓発し、川に対する不安の除去、川への親近感も増大する。「現在社会科で学習している内容にリンクしているので、子ども達にとっても盛りだくさんでしたので、もう少しゆっくり見学できればと、もったいない気がしました。特に八代市内の排水機場の場所も仕事内容も初めて知ることができ、ごみ問題が体験型で学べたことがよかったです。」との教諭からの高評価をもらった。

【河川管理者等との連携状況】

当会は、河川協力団体として八代河川国道事務所が管理する球磨川において、河川管理者との連携の下様々なイベントを実施し、不法投棄の防止や河川愛護意識の造成に係る啓発活動を長年にわたり行っている。八代河川事務所による球磨川向けの水防災ソフト教材を作成。当会は流水模型を当会で2台目を作成し、事務所に保管・貸出しできることを教育委員会・校長会で趣旨説明した。「理科部会」「社会科部会」での共同趣旨説明会した。年間を通じた水環境教育のモデル校である宮地小学校を依頼し、完成した水防災教材を使用して八代版の教材での初授業ができ、また他4校でも行うことができた。・教育現場での先生方の理解を得るために、現場の状況判断、プログラムの綿密な打ち合わせを何度も行い実施した。国土交通省八代河川国道事務所とコーディネートができたことに感謝している。

【内容】官学民産の共同体制で下記の活動を行った。

活動1) 河川防災教育モデル校発足と防災教材提供・授業の開催（国土交通省八代事務所協同）

＊期日：令和元年4月～元年11月

＊場所：八代市立宮地小学校（防災モデル校）・市内小学校4校

＊参加者：理科部会教諭・社会科部会教諭・5つの小学校5年生：合計約300人

＊内容：国土交通省・当会共同体制で取り組む防災教育モデル校として、宮地小学校全教諭に趣旨説明・了承を得、教育委員会に趣旨説明会を行った。その上で、教師組織の理科部会と社会科部会の先生方約100人の会議の場で趣旨説明を行い、防災教材・模型を提供することをアピール、各学校での利用を勧めた。

活動2) 「水質検査と水生生物調査

その1 ＊期日：令和元年6月1日（土）10:00～12:00

＊場所：球磨川①下流（坂本段駅界限）②中流（八の字堰）③上流（蛇籠）を移動しながら調査学習をした。

＊参加者：当会エコクラブ会員・保護者5人

＊内 容：流域による球磨川の水の違いを体験

その2 *期日：令和元年 7 月 13 日（金）10:00～14:00

*場所：水無川①下流（昭和）②中流（八千把）③上流（宮地）を移動しながら調査学習をした。午後は、水についての授業も実施。

*参加者：宮地小学校 6 人・八代第八中学校 6 人・先生・会員 合計 18 人の授業時間で開催

*内 容：流域による球磨川の水の違いを体験するために、水無川 3 か所において水質検査（COD/水生生物）を実施。当初の狙い通り生活排水の影響を真摯に受けとめたようだ。

活動3)「くま川水浴場」・川の安全教室

*期 日： 令和元年 8 月 4 日（日）7:30～13:00

*場 所：球磨川親水護岸

*参加者：八代市内小学校親子の 20 人+官・学・民・産スタッフ 合計 250 人

*内 容：今年度の「くま川水浴場」は、九州地方整備局八代河川事務所と八代市が進める『川まちづくり』実行委員会を巻き込んで開催。『川の安全防災教育』を基本に球磨川で泳ぐ企画として進めた。

活動4) 球磨川上下交流川の交流学習会は雨天のため、学校プールでの安全教室（宮地小学校のみ）

*期日：令和元年 8 月 31 日（金）9:00～16:00

*場所：八代市立宮地小学校

*参加者：*参加者：宮地小学校 3 年生 28 人 スタッフ 15 人 合計人 43 人

*内容：台風のため、上流の川の安全教室は中止となり、下流域の小学生が、学校のプールを利用して球磨川知識、水の学習会をした後に、川の安全教室を受講した。

活動5)「水辺で乾杯」を盛り上げる企画 球磨川の歴史を遥拝堰から学ぶ

*期日：令和元年 10 月 25 日（木）

*場所：球磨川遥拝右岸：宗覚寺 *参加者：国土交通省河川事務所はじめ川まちづくりメンバー35 人

*内容：7 月 7 日予定が大雨のため、10 月の「月見で乾杯」も延期になり、水辺のイベントは中止し、川まちづくりメンバーで、遥拝堰・加藤清正の勉強会・懇親会となった。

活動6) 防災キャンプ

*期日：令和元年 12 月 7 日（土）13:00 から 8 日（日）14:00 まで

*場所：宮地東小学校施設

*参加者：宮地校区住民及び宮地小学校 PTA 親子・東町校区住民 50 人

*内容：宮地・東町校区の方々に向けた防災講演会・実技指導

活動7) 河川教育・防災教育のための会員の学習会・研修会受講

その1

*期日：令和元年 6 月 8 日（土）・6 月 9 日（日）・6 月 15 日（土）10:00～16:00

*参加者：薮内政勝

*内容：RAC リーダー養成講座

その2

*期日：令和元 12 月 14 日（土）15 日（日）9:30～16:00 場所：東京都台東区柳橋 1-2-10 東京共和会館

*参加者：松浦ゆかり *内容：プロジェクト WET ファシリテーター養成講座参加

その3 WET 講座小学校での実践授業

*期日：令和 2 年 1 月 30 日（土）10:50～12:20 場所：八代市立宮地小学校 多目的教室と調理室

*参加者：防災モデル校：宮地小学校 1 年生 25 人・2 年生 29 人教諭 5 人会員 3 人 合計 62 人

活動8) こどもごみパトロール隊

*期日：令和元年 1 月 22 日（火）14:10～16:30 *場所：大垣排水機～水処理センター～球磨川河川敷

*参加者：高田小学校 4 年児童 47 人・大人 20 人合計 67 人 ※好評のため 30 年 9 月 25 日宮地小学校 4 年生（51 人）でも実施した。

活動9) 活動発表会・講演会の開催

子供向け：「シーバス釣り大会：八代海を守る活動」で発表・大人の講演会はコロナウイルスのため中止

*期日：令和 1 年 11 月 3 日（日）9:00 から 16:00 *場所：八代ゆめタウン特設会場 *親子 25 人

*内容：ごみの流れ着く現状、水の汚れの原因を五感で感じる見学会と、実際の護岸ごみの現状を調査したことで、ポイ捨てや不法投棄を、児童が大人への啓発にしてくれる充実した企画となった。

●令和元年活動：18 回参加者総人数 1,005 人（当会主催他の河川活動参加動員数合計 約 2,000 人）

他に「くま川ごみゼロポスターコンクール（・表彰式・展示会・看板設置除幕式）」や「八代海河川・浜辺の大そうじ大会」「水の循環」出前授業「青少年干潟を守るワークショップ」等も行っている。

以下詳細をご覧ください。

活動 1) 河川防災教育モデル校発足と防災教材提供・授業の開催（国土交通省八代事務所と協同）

＊期日：令和元年 4 月～元年 11 月

＊趣旨：年間を通じ、「河川防災モデル校」として宮地小学校で様々な体験プログラムを実施することを目的に親子・地域を巻き込んでできたことは、幼少期から防災教育を進める、自然災害に関する「心構え」と「知識」を備えた個人を育成することに効果的であり、これにより、子供から家庭さらには地域へと防災知識等が浸透していくことが期待できる。

＊内容：国土交通省・当会共同体制で取り組む防災教育モデル校として、宮地小学校全教諭に趣旨説明・了承を得、教育委員会に趣旨説明会を行った。その上で、教師組織の理科部会と社会科部会の先生方約 100 人の会議の場で趣旨説明を行い、防災教材・模型を提供することをアピール、各学校での利用を勧めた。教科書に沿った時期（9 月～11 月）で、洪水や土砂災害が起こる理由、発生のメカニズムなどを学校の学習指導要領の中に織り込んだ、地域の河川球磨川教材と模型を利用した防災授業の開催。モデル校で初授業ができ、他 4 校（モデル校は 5 年 6 年開催で計 5 回）で開催。

＊参加者：理科部会教諭・社会科部会教諭・5 つの小学校 5 年生：合計約 400 人

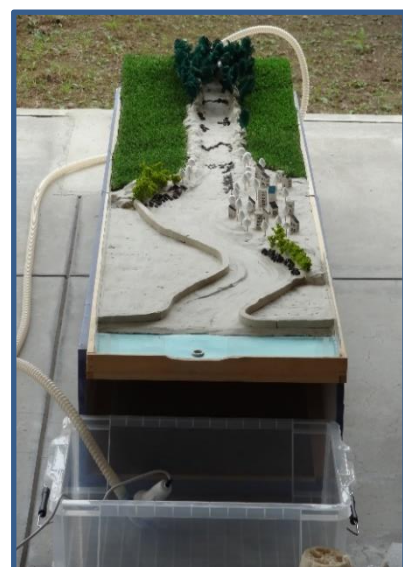


教師組織：理科部会・社会科部会で模型教材説明



昨年度作成した模型と並べた 2 基の模型で実験

＊内容：次年度、市の教育委員会・理科部会の先生方に趣旨説明を行い、模擬授業を行うことになるが、今年度作成した「防災教育流水模型」と「プロジェクト WET」の教材を利用して、地域の子どもの反応を見、また、改善や手法のレクチャーを行った。地域の地名を言いながら、実際に河川の氾濫を再現したことにより、十分に水防災の重要性を伝えることができる教材になるであろう。



防災流水氾濫実験は子どもたちに好評



熊本日日新聞に掲載された



流水模型のチラシを作成。又、次年度市内の全小学校へ配布予定。右は教諭らの希望で土砂流模型も製作した。



活動2) 「身近な水環境の全国一斉調査」「熊本県依頼：川の水質調査」(平成14年から毎年継続中)

趣旨「身近な水環境の全国一斉調査」と「熊本県身近な川の調査」にあわせ、市内の川の水質検査を上流・中流・下流に分けて行った。地域の河川状況を五感体験で学ぶことで、川や水への親しみや愛護心を育む。

その1 *期日：令和元年 6月1日(土) 10:00~12:00

*場所：球磨川①下流(坂本段駅界限)②中流(八の字堰)③上流(蛇竈)を移動しながら調査学習をした。

*参加者：当会エコクラブ会員・保護者5人

*内容：流域による球磨川の水の違いを体験 毎年行うことで、今年度はエコクラブ生徒が検査を担当した

その2 *期日：令和元年 7月13日(金) 10:00~14:00

*場所：水無川①下流(昭和)②中流(八千把)③上流(宮地)の水を採取し、パックテストで調べた。水生生物調査は③上流で調査学習をし、水についての授業も実施。

*参加者：宮地小学校6人・八代第八中学校6人・先生・会員 合計18人の授業時間で開催

*内容：流域による球磨川の水の違いを体験するために、水無川3か所において水質検査(COD/水生生物)を実施。当初の狙い通り生活排水の影響を真摯に受けとめたようだ。



水質検査(パックテスト)



球磨川遥拝地点



球磨川河口近くの地点

*感想：普段、近寄る機会が無く、更に、下流域の様子しか知らない児童にとっては、上流域の環境は目新しいものであったようで、積極的に水に触れていた。熱中症の懸念があったため、各所で汲んだ水を学校に持ち帰り、水質検査を行い、各所での差異や、水が汚れる原因、生活排水のことを学ぶ機会を作ることができ、川に対する親しみや知識を持ち、河川環境の保全を実践的に行うことができる次世代の育成の第一歩に繋がる活動になったのではないかと考えた。

活動3) 「くま川水浴場」・川の安全教室

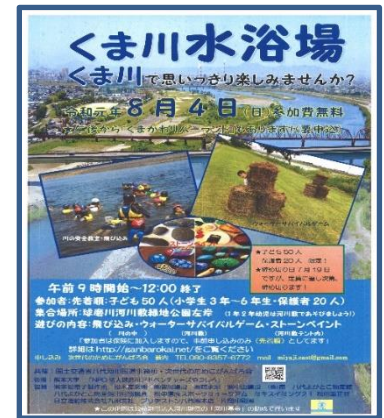
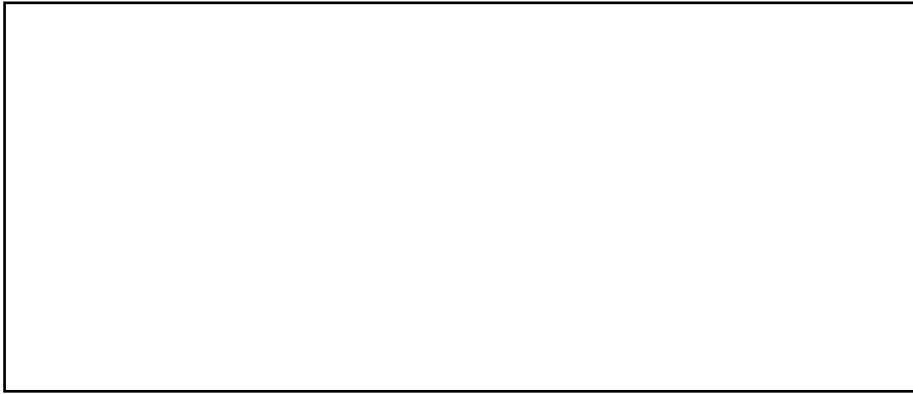
*期日：令和元年 8月4日(日) 7:30~13:00 *場所：球磨川親水護岸

*参加者：八代市内小学校親子の200人+官・学・民・産スタッフ 合計250人

*内容：今年度の「くま川水浴場」は、『川の安全防災教育』を基本に、球磨川で泳ぐ企画と、河川敷でストーンペイント・河川敷の刈草を利用したサバイバルゲームを行い、とても好評だった。

趣旨

多くの市民に球磨川の素晴らしさを知ってもらうと同時に、安全に川で遊ぶための方法を、体験を交えて周知し、川の賑わいづくりに繋げる。



熊本日日新聞掲載記事

ポスター



ストーンペイント体験

サバイバルゲーム水鉄砲

河川敷の刈草マルチを利用



活動4) 球磨川上下交流川の交流学习会は雨天のため、学校プールでの安全教室（宮地小学校のみ）

＊期日：令和元年 8月30日（金）8：00～12：10

＊場所：宮地小学校・小学校プール

＊参加者：宮地小学校3年生28人 スタッフ15人 合計人43人

＊内容：台風のため、上流の川の安全教室は中止となり、下流域の小学生が、学校のプールを利用して球磨川知識、水の学習会をした後に、川の安全教室を受講した。



水についての学習



川の流れを学ぶ



川の安全教室を教室で学ぶ



ライフジャケット着用説明



学校のプールで安全教室体験



カヌー競争



着衣遊泳体験と浮く体験



カヌーは担任にも好評



全員で記念撮影

活動5)「水辺で乾杯」を盛り上げる企画球磨川の歴史を遥拝堰から学ぶ

＊期日： 令和元年10月25日（木）

＊場所：球磨川遥拝右岸：宗覚寺 ＊参加者：国土交通省河川事務所
はじめ川まちづくりメンバー35人

＊内容：7月7日予定が大雨のため、10月の「月見で乾杯」も延期になり、水辺のイベントは中止し、川まちづくりメンバーで、遥拝堰・加藤清正の勉強会・懇親会となった。この企画により、右岸・左岸住民が親睦を深めた。

活動6) 河川教育・防災教育のための防災体験キャンプ

期 日：令和元年12月7日（土）13:00 から・8日（日）13:00 まで

場 所：宮地東小学校跡地研修施設

参加者： 宮地地域・東町地域の住民・児童（親子）など50人

○目的

今後高い確率で起こるだろうといわれている日奈久活断層地震や集中豪雨による災害について、子どもたちが家族や地域とともに、いざという場合の対応方法を学習・体験することで、楽しみながら防災意識が身につくことを目的とし、宮地東小学校施設で、宮地・東町校区の方々に向けた防災講演会・実技指導をおこなった。

《活動内容》

●12月7日（土）13:00～宿泊

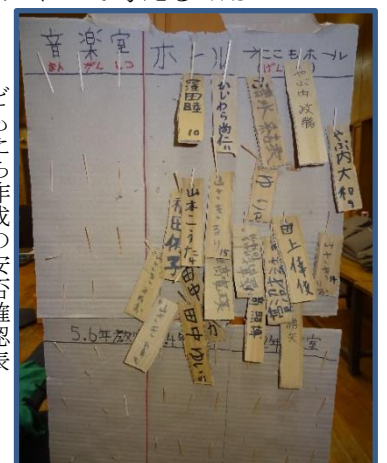
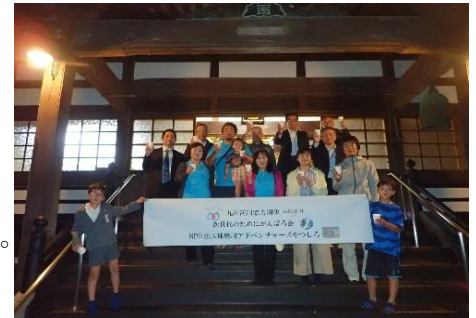
- ① NPO 法人 レスキューサポート九州代表 木ノ下勝矢氏による被災地の現状やクイズで考える WS
- ② 国土交通省八代河川国道事務所による災害図上訓練
- ③ NPO 法人 レスキューサポート九州 轟美智代氏による非常おやつ作り
- ④ 防災キャンプに対する児童各自の目標の設定
- ⑤ 児童による避難所の設営準備（避難者の受け入れ準備）
- ⑥ 「地震が発生しました」の放送（突然開始）避難者受け入れ開始
- ⑦ 非常食炊き出し訓練で夕食づくり
- ⑧ ローソクの安全な使用方法、柑橘を活用したみかんローソク作成

●12月8日（日）起床 7:00～14:00

- ① 朝食（備蓄食糧） 轟美智代氏 指導
- ② 実際の被災現場や実状をスクリーンで学習
- ③ ペットボトルを利用したピザづくり
- ④ 児童が各自の立場でできることを出し合い、取り組みのキーワードを作
活動をまとめ、参加した大人それらを発表した。

《感想》

参加者から「防災教育をむづかしいと考えていたが、地域の地図を見ながら防災マップ確認を専門家と共に考える機会であり、また防災食や非日常な生活を2日間で考えることができて良かった。」と、意識が高まったようだ。また、参加した児童の感想も好評で、特に、災害地での安否確認表を子どもたちが考えて作成したものに、会場を移動する際に即対応していた。そのことを踏まえ、次年度も参加意欲がある発表だった。



子どもたち作成の安否確認表



国土交通省八代事務所の講和



防災食づくり



非常用キャンドルづくり



参加した児童の発表



親子で防災食づくり



活動7) 河川教育・防災教育のための会員の学習会・研修会受講

その1 RAC

＊期日：令和元年6月8日（土）・6月9日（日）
・6月15日（土）10:00～16:00

場所：山鹿市菊池川鹿本町水辺の学習館ゆめほたる

＊参加者：薮内政勝

＊内容：当会の河川企画（川の安全教室）での指導を行うため、RAC リーダー養成講座を受け、RAC アシスタントリーダーの復習とさらに本格的な技術を習得できた。将来的にはRAC トレーナー取得を目指し、会のイベント企画での活躍を期待している。

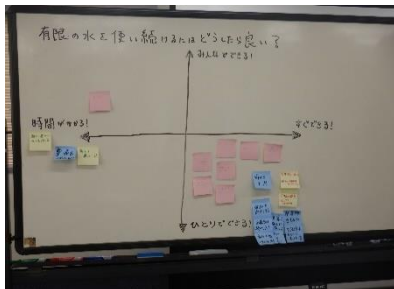


その2

＊期日：令和元12月14日（土）15日（日）9:30～16:00 場所：東京都台東区柳橋1-2-10 東京共和会館

＊参加者：松浦ゆかり

＊内容：プロジェクト WET 講座受講を受け、小学生低学年の授業の場合や、雨天時の水環境についての内容を会員が熟知するためファシリテーター取得し、早速、防災モデル校で実施できるポイントを得た。



エドゥケーター講習会



実技体験



参加者記念撮影

その3

＊期日：令和2年1月30日（木）10:50～12:20 場所：宮地小学校 多目的教室と調理室

＊参加者：防災モデル校：宮地小学校1年生25人・2年生29人教諭5人会員3人 合計62人

＊内容：小学生低学年の授業時間をもらい、雨天時の水環境・防災教育と、水問題についてのWET 講座。

子どもたちは興味を持ち、再度受講したいとの声が多かった。★NHK・ケーブルテレビ・市報の取材有り

＊プログラムは資料A参照



WETプログラム青い惑星



ブルービーズ



資源ごみの分別ゲーム

活動8) 球磨川こどもごみパトロール隊

期 日：令和2年2月17日(月)13:30～16:00

場 所：高田小～水処理センター～大碓排水機～球磨川河口金剛河川敷～高田小

参加者：高田小学校4年児童58人・教師3人・大人13人 合計74人

内 容：ごみの流れ着く現状、水の汚れの原因を五感で感じる見学会と、実際の護岸ごみの現状を調査したことで、ポイ捨てや不法投棄を、児童が大人への啓発にしてくれる充実した企画となった。

主催：次世代のためにがんばる会

共催：国土交通省八代河川国道事務所

参考：この企画は9月26日宮地小学校4年生も実施。(毎年、宮地・高田小学校の4年生で開催)



水処理センター見学



位置図(ルート図)



大碓排水機場 見学



子どもたちによる河川敷のごみ調査

活動9) 活動発表会・講演会の開催

子供向け：八代青年会議所企画「シーバス釣り大会：八代海を守る活動」に参加。

*期日：令和1年11月3日9:00 から 16:00

*場所：八代ゆめタウン特設会場

*内容：防災モデル校として出前授業をした児童宮地小学校4年生が活動発表をした。

また、当会の活動紹介も展示ブースとして市民に啓発した。

*3月22日に予定していたシンポジウムでの活動発表は、会はコロナウイルスのため、中止になった。



助成番号		助成事業名		所属・助成事業者氏名	
2019-6111-004		「河川流域交流・世代間交流による、公助に頼らない自助・共助で「生きる力」を身に付ける体験型活動」		次世代のためにがんばる会	
助成事業の主な実施箇所	主な実施箇所 球磨川 ※活動を数カ所で行っている場合は、代表的な箇所を1カ所程度記載してください。				
	 <p>防災教育モデル校 ：宮地小学校</p> <p>水浴場 球磨川会場</p>				
河川基金ロゴ等表示状況写真	遠景		近景		
					
延べ参加人数		一般	1,005 名	スタッフ・事務局	50 名
マスコミ等の反響		熊本日日新聞・市の広報誌・市のWEB広報で掲載			